



# INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：中川博夫 副会長：唐澤千明 幹事：池上幸平



2015-2016 国際ロータリーのテーマ  
**世界へのプレゼントになろう**  
 Be a gift to the world

2015-2016 RI会長  
 K.R.“ラビ”ラビンドラン  
 スリランカ



**第1335回 例会 平成27年12月8日(火)**

■ 点 鐘 12:30

■ ソング それでこそロータリー 馬場秀則ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介 ・米山記念奨学生 沈昱東 様



■ 会長談話 中川博夫会長



先月はロータリー財団月間だったので、世界には色々な形で途上国の貧困層支援をしている個人・団体がありますので、その一部を話します。

途上国の貧困から脱しようとする人々に少額融資をするアメリカ発オンラインのマイクロクレジット「キバ」というサイトがあります。運営しているのはマット・フラナリー氏。

彼はインターネット上で広く投資を募り、現地の小口無担保融資(マイクロファイナンス：略称MIF)機関を通じての迂回融資を考えました。

社会貢献をしたい人と、経済的な自立のために少額の資金が必要な人とを、インターネットを活用してマッチングさせる仕組みです。貸し手は、キバのサイトで紹介されている小規模事業から投資先を選び、クレジットカードで出資するというものです。最低25ドルからの小口出資で、利息はつきません。融資額は75ドルから約2,000ドルまでです。開始から4年で世界50カ国の起業家に9000万ドルの融資を行っています。90万人の貸し手により毎週150万ドル以上のクラウドファンディングが行われています。

MFIとは、バングラデシュの貧困削減に貢献したことが評価され、2006年にノーベル平和賞を受賞した経済学者であり、貧困層向けの小額融資に取り組むムハメド・ユヌス氏が1983年に設立したグラミン銀行もこのひとつで、世界各地にあります。

キバはネットを通じて集めた資金を、現地のパートナーであるMFIを通じて事業家に、通常約16%の利息で融資。16%の利息という高いと感じるかもしれませんが、この手の融資は現地に行くコストが高つくので35%と高いのです。

なぜ、MFIと連携しているかと言うと、MFIには地域社会に出かけていくソーシャルワーカーによく似た融資担当者がおり、優れたアイデアを持ち資金を必要としている地元の事業主を見つけます。こうした融資担当者は、事業計画、返済計画を審査した上で融資をするので貸付金の返済率は99.7%とほぼ完全に回収されています。

融資担当者が審査内容、借り手のプロフィールをつけウェブサイトに直接アップロードすると、サイト見て、この人を応援したいという人が資金の一部または全額をクレジット決済で融資します。クラ

ウドファンディングですので、融資全額が集まるまでは借り手の手元に届きませんが、集まった段階で全額が即日借り手の元に届きます。

他の寄付、融資との一番の違いは、融資担当者は返済金を集めるために1カ月毎かそれより短い間隔で訪問し、ウェブサイト上に返済額、事業の進捗状況をアップするので、いつでもネット上で、自分の融資先の動向を知ることができるのです。

世界には、MFIが何千もありますが、そうした機関は資金繰りに苦しみ、資金を切望しています。お金がもっと多くあれば、もっと多くの貧しい人に手を差し伸べることができるのですが、少額ローンを利用できるのは、低収入労働者5人のうちたったの1人、約1億人はいるそうです。

サイトユーザー達は、融資を行うとき、その融資の10%を任意にキバに寄付することができます。社会貢献に関心の高い貸し手のほとんど全員がそうしているそうです。

興味のある方は、Kiva Japanを検索してください。目に見える寄付といっても融資ですが、これも国際貢献の一つだと思います。

Kivaの最初の融資先は、7人の子供を抱えるウガンダの未亡人女性。彼女は道端で魚売りを始めたが、仲買人から相場の3倍もの値段で魚を買わされ、生活は苦しかった。「自分でビクトリア湖に買付けに行けば、仲買人を通さずにすむ」。でも彼女は貧しくてビクトリア湖までのバス賃さえ払えませんでした。そこでKivaは500ドルを融資しました。彼女はバスに乗って、融資を元手に安い値段で仕入れ、冷蔵庫を買うことで商売が繁盛しました。結果、子供たちを学校に通わせ、いくらか貯蓄して家族に投資することができました。薬を買い、緊急事態に備えることもできました。家族の生活を安泰にするために経済基盤を確立したのです。彼女のように、貧困に直面している人々はお金に事欠き、情報から遮断され、融資の機会もない。しかしたとえ少額でも、チャンスがあれば素晴らしいビジネスを立ち上げられる。ということです。

## ■ ニコニコボックス

- ◆中川博夫 寒かったりしますが、皆様体に気を付けてお過ごし下さい。
- ◆池上幸平 12月6日、会社創立25周年の事業を行いました。これからも皆様よろしくお願ひ致します。
- ◆唐澤稔 沈昱東くん、飯田ロータリークラブ卓話ご苦労様でした。本日の出席を歓迎致します。
- ◆伊澤和男 米山奨学会寄付、よろしくお願い申し上げます。
- ◆唐澤千明 寒くなりましたが、皆さんお体に気をつけて。
- ◆橋場正尚 NHKとるしん・イブニング信州の番組で何度も出されました。冥土の土産かなあ～

## ■ 幹事報告

池上幸平幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

## ■ 委員会報告

### ・11月25日（水）飯田RCへの米山奨学生卓話訪問の報告 唐澤稔カウンセラー



沈昱東さんと2人で行って来ました。大変な歓迎に感激をしたのですが、沈昱東さんの卓話はまるで大学の博士のような素晴らしい卓話でした。また、後で話して頂きます。

## ・12月6日（日）地区補助金管理セミナーの報告 伊澤和男会長エレクト



150人と大変たくさんの方が集まり、補助金も前年並みに集まりました。どんな事に使えば良いのか皆さんからのご提案をお願い致します。また、日を改めて皆さんとの話し合いの場を持ちたいと思います。

### ■ 出席報告

会員数37名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席者26名 事前メイク2名  
出席率87.50% 前回出席率 修正なし

### ■ クラブフォーラム

#### 「ロータリー財団委員会」 清水吉治ロータリー財団副委員長



2015-16年度のロータリー財団は、4つの優先項目と目標を掲げておりますので紹介します。

1. 永久にポリオを撲滅する。
2. 財団に対する会員の知識、参加、寄付を向上させる。
3. 財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める。
4. ポリオプラスにおける成果と「世界でよいこと」をしてきた100年の歴史に注目し、実績に対するイメージと認識を高める。

当地区では以上4項目を達成するため、以下のように目標を立てております。

1. 基金への寄付目標額を一人平均150ドルを達成する。
2. 財団担当例会を最低年四回開催する。
  - ・財団の補助金について
  - ・ポリオプラスについて
  - ・財団の資金の仕組みについて
  - ・資金管理と参加資格について
3. ポリオ・プラスへ年500円以上  
ロータリー平和フェロシップへ年500円以上
4. ポールハリスフェロー・ベネファクター寄付への推進
5. 地区補助金への申請手続き
6. ロータリーカードに最低2名の新規加入の促進
  - ・スタンダード・カードは、年会費永年無料です
  - ・ゴールド・カードは年会費10500円の内3000円が財団寄付となります

等の事業を行っています。「世界へのプレゼントになろう」が国際ロータリーの本年度のテーマです、宜しくご協力をお願いします。

#### 「米山記念奨学会委員会」 伊澤和男米山記念奨学会委員長



奨学金寄付は前年同期比4.3%増で3千万円の高額もあり、寄付者数も300人増と順調です。奨学生も国別では中国、韓国が減少しベトナム、台湾、モンゴル、マレーシアが増え1,268名となっております。5月にはソウル国際大会「米山大集合」、学友ナイト・米山分科会等も有り是非多くの皆様の参加をお願いします。

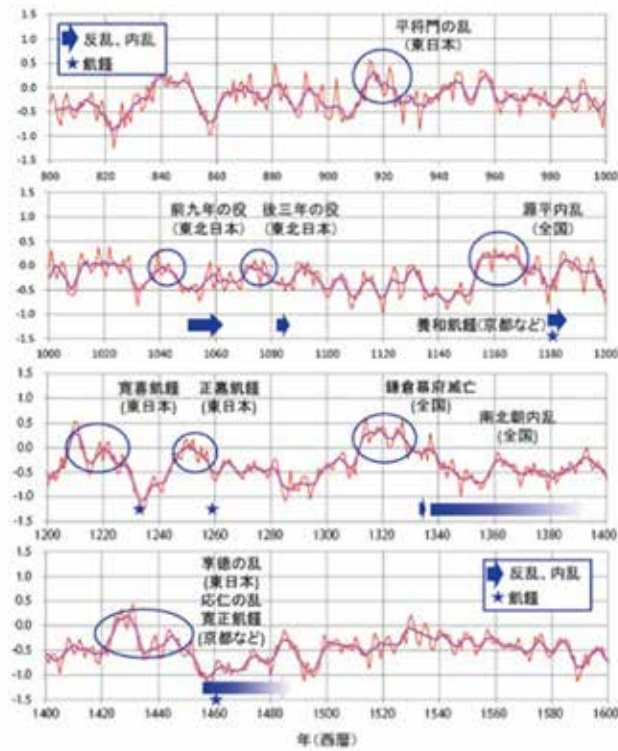
学友会の活動も活発で11月には2,720地区で学友会設立準備委員会が開催され、ベトナムの学友が老人福祉施設にテレビ・湿布・医学品等を寄付されました。

また、当クラブでも特別寄付金を個別にお願いします。より多くの方に協力してもらう事となりますが御協力をお願いします。

米山奨学生 沈昱東さん卓話



温暖化が続くと世界中で争い事が多くなる。



## 気候復元と人間社会

9～16 世紀における東アジアの夏季平均気温の年々変動 (Cook et al., 2013) と、日本における飢饉や戦乱の記録の見かけ上の一致

出典:「高分解能古気候学と歴史・考古学の連携による気候変動に強い社会システムの探索」総合地球環境学研究所

■ 点 鐘

13 : 30

### 次回例会

12月15日 (火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店  
全員協議会「地区補助金」